



活動の前に教員と綿密な打合せ



子ども達は稲の脱穀を初めて体験



中学校では英語の授業を支援



木工の授業支援では経験が活きます

狭山の元気 発見

躍進

いきいき狭山人
びと

ボランティアの持つ知識や経験を活かして 地域の子どもの教育を支援し 元気な学校づくりに役立ちたい

今、学校を取りまく環境が大きく変化する中、子ども達を地域全体でぐくみ、支え合うことが一層求められ

ています。

そうしたニーズに対応したのが、昨年4月、市教育委員会の委託事業として開設された狭山市学校支援ボランティアセンターです。

どの活動を行って「います」と言うように、センターの順調な運営に合わせて、忙しい毎日が続いているようです。

「私たちの地域には、自分の経験



センターを支える運営委員の皆さん
ボランティア募集の際はご協力をお願いします

狭山市学校支援ボランティアセンター

「センターができたきっかけは、狭山シニア・コミュニティ・カレッジ（SSCC）同窓会の活動支援部会が、学校支援活動を行ったことです。そして、同窓会の枠を超えて、協働で学校を盛り上げていく試みがそこから始まりました」と話すのは、同センター事務局長の諸井寿夫（ひさお）さん。

現在、約280名のボランティア登録者がいて、狭山台中学校内にある事務局には、問い合わせも多く寄せられています。「私たちの最大の役割は、学校からの要望に応じて、学校とボランティアをつなぐことです。そのために、人材確保やネットワーク作り、各種情報の集約、ボランティア研修会の開催、地域へのPRな

にもなる、まさに市民協働のシステム作りを目指しています。「しかし、課題もたくさんあります。もっと幅広く多くの方がたの協力を得たいし、既存の学校ボランティアとの連携も必要不可欠です。そのためにも多くの皆さんの力をぜひお貸しください」と語る諸井さん。

現在のところ、センターへの登録者は、仕事を定年退職された方や、子育てを終えた方が多くを占めています。センターは、経験豊富なこれらの人たちが自己実現を果たす場にもなり、一方では、学校が地域の教育力を活用できる場

狭山市学校支援ボランティアセンターは、学校と地域の人びとを結ぶ架け橋として、これからも大きな役割を担っていくに違いありません。問合せ同センター事務局（月・火・金曜日、13時～16時）へ
2927 1395

市民みなさんの声

オピニオン

楽しく過ごせる児童館が大好きです



小野寺和夏さん
(北入曽在住)

児童館は自宅から近く、よく利用しています。身近に小さい子が遊べる公園がないのも理由ですが、子育て中の親としては、やはり不審者が一番の心配です。外で遊ばせるのも大切ですが、子どもの安全を考えると職員の皆さんや知り合った仲間がいる児童館を利用するほうが安心して過ごすことができます。小さい子どもを持つ親同士で相談しあったり、情報交換などのコミュニケーションの場としても気に入っています。

子ども達の年齢にあったイベントや、子どもが好んで遊ぶおもちゃも豊富にあるのも魅力ですが、絵本の貸し出しをしてもらえたらと思います。それから、ランチタイムのときにお湯やレンジを用意していただけるともっと嬉しいのですが...

これからも、安心して子ども達を遊ばせることができる児童館を利用していきたいと思います。

市の考え方

日ごろから児童館をご利用いただき、ありがとうございます。まず、絵本の貸し出しですが、蔵書数が限られている児童館では、来館者への絵本の確保を考慮しますと難しいところですので、まずは、蔵書の充実を図ってまいります。また、現在のところ電子レンジ設置の予定はありませんが、授乳及び離乳食用のお湯については、対応させていただきます。なお、中央児童館内親子交流スペースでは、お湯や電子レンジの用意もしていますので、ぜひご利用ください。不明な点やご要望などがありましたら、お気軽に事務室におたずねください。

担当 子育て支援課

皆さんの「声」をお待ちしています。
お寄せいただく際は、住所、氏名、電話番号をご記入ください。☎2954 6262(代)
✉koho@city.sayama.saitama.jp

2953 2957
私達たちは、無理せず楽しみながら、でもちよと本気になって生き生きと美しく年齢を重ねることをモットーにしています。
皆さんも一緒にジャズダンスを楽しんでみませんか。
問合せ 藤木裕子(ゆうこ)さんへ

私の宝物 ...

クワガタとカブトムシの魅力

知人からオオクワガタを譲ってもらい7年、今なおクワガタやカブトムシに魅了されています。飼育の最大の魅力は体が大きく色つやが良いものを育て上げること
新井啓介さん(加佐志在住)にあります。しかし、これは大変難しく、成虫まで育てるには室温管理や飼育箱の大きさなど、よい環境を保ち続けることが重要です。こうして苦労を重ね



ひろゆき 新井啓介さん



力強さが特徴のヘラクレスオオカブトムシ

育て上げたクワガタやカブトムシが、私の大事な宝物です。子ども達には、一緒に成長を見守り、親世代から子世代へと繁殖を続けることで命の尊さや大切さを感じ、学んで欲しいです。

次回は、友人で狭山にお住まいの方をご紹介します。

Hello ハロー仲間たち

Vol.321



年2回の発表会で踊ることが私たちの目標です

ダンシング・ビレッジ

私たちのサークルは、昭和54年に発足後、平成2年にこの名前に変わり、18年も続いています。現在は、14名の会員が水富公民館で活動しています。

サークルのよいところは、講師や会員の理解があつて、子どもを連れて参加できることです。子どもをお腹の上に乗せて腹筋したり、ストレッチをしたり、一緒に楽しんでいます。

一日2時間30分の活動時間の内、前半はバレエのレッスンも取り入れて体をほぐし、後半は音楽に合わせた振り付けが中心の練習になります。気分はまるでダンサーのよう。年齢を重ねるにつれて、筋力の衰えを感じる方も多いと思いますが、気持ちのよいストレッチで体の柔軟性を高め、ダンスでリズム感を養い、振り付けを覚えることで、脳トレ・ニングにもなり、心身ともに効果的です。